

個性あふれるレトロな建物でリノベーション進行中。@福岡市中央区

那珂川の河口近くに佇むレトロビル「永島ビル」4階



室内から那珂川を望む



建築当時の仕様を残す共用部



階数表示のフォントも
建築当時のもの。二本
線に込められた意味とは？（ヒント：外壁）

このたび4階区画のリノベーション工事が完成しました。那珂川を望む眺望のよさが魅力のシゴトバ。レトロな共用部の要素を室内に取り込んだデザインです。
(4階：約19坪／約63m²)

永島ビル 建物ページ



那珂川の河口という立地と建物のビンテージ感からヒントを得た“船を思わせる外観”と、建築当時の仕様を残す共用部が特徴的な建物（中央区天神）。オーナーさんが丁寧に建物管理をされています。2017年に3階の募集、2024年には1階の工事・募集に携わさせていただきました。



ひとつ不動産の明日を、 共感で結ぶ。

2008年に創立したスペースRデザインは、福岡を中心にこれまで40棟以上の賃貸不動産の再生に携わってきました。想いを込めて作られた建物は古さに関係なく人を惹きつける力があります。スクラップアンドビルトではなく、丁寧に使い続け、繋いでいく。その仕組みをデザインすることが、私たちの役割です。

不動産の価値を生み出す根幹には、ひとの存在があります。そしてひとつ不動産を結びつけるのは、明日への希望です。私たちは、不動産に“共感”という本質的な価値を付加し、長く愛される不動産を創出することをミッションとしています。

表紙の写真 リノベーションミュージアム冷泉荘の7月

7月になるとまちが賑やかになる博多祇園山笠！この時期になると、冷泉荘のA棟入り口に山笠のれんを飾っています。（冷泉荘管理人 すぎやま）



主役は皮むき間伐材＆断熱。「カメリア小笹」303号室



現在303号室をリノベーション中。ポイントは「皮むき間伐材」と「断熱」。山や森林でさまざまな活動をされているオーナーさんならではの、みんなに優しいリノベ部屋です。



糸島・真名子で皮むき間伐により切り出された8本の木（「NPO法人いとなみ」さんにご用意いただきました）を八女流さんに製材。

断熱仕様の工事は、二重窓・床断熱・玄関内側ドア



カメリア小笹建物ページ

カメリア小笹は階段室型の5階建てマンション（中央区小笹）。自然や大地を感じる暮らしをコンセプトに、2015年にはじまったリノベーションプロジェクト。現在21室のリノベーションに携わさせていただきました。

豊かな自然に囲まれ、間近で四季を感じることができ、小笹のまちを見下ろす眺望。そしてご自身が一番に自然を楽しみ、建物を想い、人とのつながりを大切に育むオーナーさんの存在。それはカメリア小笹のもつ最大の強みです。

スペースRデザインだより

2025年夏号

no.74



トピックス

永島ビル 4階
カメリア小笹 303号室

ニュープロジェクト@コーポ江戸屋敷
DIY屋台プロジェクト
Ready to Edy

コラム

リノベ課吉村がゆく！
スタッフこばなし
エントランスカフェ
清川キッチン
福岡エトセトラ



発行元 株式会社スペースRデザイン
〒810-0041
福岡市中央区大名2-8-18天神パークビル
TEL 092-720-2122 FAX 092-720-2123
MAIL yj@tenjinpark.com



WEBサイト

NEWプロジェクト 久留米の団地「コープ江戸屋敷」

2つのプロジェクトが同時進行中です！



DIY屋台プロジェクト 2025.5～

団地の敷地を使いこなす新たな試みとして屋台づくりにチャレンジ中。5月にアイディア出しワークショップを行い、参加者の皆さんでどんな屋台があったらよいかを考えました。アイディアをもとに8月にはDIYワークショップで屋台をつくります。「隣人まつり」(9月に計画中) でお披露目予定！



リノベ課
なかじょう



Ready to Edy ーリノベーションを軸に江戸屋敷を使いこなす100日間ー 2025.6～

3室同時リノベーションを軸に、リノベーションの過程をひらき、多様な人たちと共に場を育てる取り組みです。①設計のコンセプトやストーリーに着目したplanning、②工事中の職人さんに注目して発信するspotlight、③完成した部屋をどう使いこなすかを模索するexhibitionの3段階で進んでいきます。



リノベ課 ほんだ

コープ江戸屋敷では「コミュニティデザインカレッジ(2016)」で描いた7年間の計画をもとに、西側小径づくりやピザ窯設置など、入居者さんと一緒に豊かな暮らしの環境づくりに取り組んできました。今回の新プロジェクトも、建物をきっかけに出会い、育まれてきた関係性の中から生まれたものです。これからも取り組みを見守ってもらえた嬉しいです。



広報 しんの

清川キッチン



「切り干しナポリタン」



お弁当のおかずにもぴったり！パスタを使わず干し大根で。



●材料

切り干し大根、玉ねぎ、ピーマン、ロースハム、塩、胡椒、オリーブオイル、トマトケチャップ



●作り方

①切り干し大根は、さっと洗った後、5分から10分、やわらかくなるまで水に戻し、よく絞る。②その他の具材を細長く切り揃える。③オリーブオイルで、全ての材料を炒め合わせ、火が通ったら、トマトケチャップ、塩、胡椒で、スパゲッティナポリタン風に味付けしてできあがり。

ライター：森千鶴子さん

農山漁村と旬の食にまつわる記事の執筆、地域づくりのお手伝い、食育活動などに取り組む。料理研究家、食文化研究家の一面も。新高砂マンションの入居者さん。

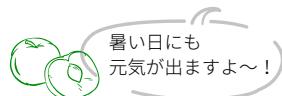
エントランスカフェ通信



『うめスカッシュ販売中！』

梅雨明けした途端、一気に暑い夏がやってきましたね。今年も、うめスカッシュの季節が訪れましたよ。自家製のうめシロップをしゅわしゅわの炭酸で割っています。

爽快な梅の味わいが楽しめ、毎年人気のドリンクなのです。うめシロップが無くなり次第終了となりますので、お早めにどうぞ！



暑い日にも元気が出ますよ～

2025年11月末まで
エントランスカフェ
50円OFF

リノベ課よしむらがゆく！

～スタッフコラム～

『建工具場に潜入！』

ひょんなことから、宇美町にある建具屋さんの工場に行く機会がありました。“工場”という響きから、複数の作業員さんが流れ作業的に建具を作っているのかな？と想像をしていましたが、ここは広いスペースで1人で作業されているとのこと。有線ラジオのノリのいい洋楽が流れる中、使い込まれた見たことのない機械に囲まれた空間はかなり痺れました。

職人さんは「いつもはもっと綺麗なんだけどね・・笑」と言っていましたが、床に散らばった木くずもなんだかいい味。こんな工場で作っても恥ずかしくない、かっこいい建具をデザインしないとですね！



リノベ課 よしむら

スタッフこばなし by 中満俊介



こんにちは。中満俊介です。入社して2カ月が経過しました。建築やまちづくりが大好きです。不動産業に関わることで、自分自身の視野が広がっていくのを感じます。

先日は吉原ラボの視察で「千駄木・前橋街歩き」に同行してきました。オーナーさんや設計者さんと実際に再生された建物を見てお話ししたこと、不動産再生に対する理解度が一段と上がった実感があります。千駄木のHAGISOと前橋のSHIROIYA HOTELの写真をお届けします。新旧の素材が生み出す複雑さ、維持管理の丁寧さ、様々な学びを得た良い空間体験でした。



不動産マネジメント課 なかみつ

ふくおかエトセトラ



先月6/19は、福岡大空襲から80年の日でした。現代はこの体験を語り継ぐ人がいなくなり、歴史上の1つの出来事になり始めています。歴史学者が遺した言葉「13歳くらいまでに民族の神話を学ばなかつた民族は、例外なく滅んでいる」を

まちづくり風に言い換えると、「まちの歴史を学ばなかつた市民が暮らすまちは、人が離れていく衰退する」となるように思います。まちの歴史を知ることで、住んでいる市民は「このまちで暮らしている意味」を考える機会となり、それが自身のアイデンティティに繋がります。「まちの文脈を学ぶ」という機会を創る活動は、立派なまちづくり活動と言えますね。



まちの歴史を
学びましょう

%社員 いわなが

編集部のへや

あっという間に暑い夏ですね！お題は「夏の楽しみ方」。

瀬戸内海エリアに引っ越して、夏は海にいくようになりました。といつても、私はあまり海にはいらず、陸でもっぱら子供の見守り担当。その間のんびりアイスを食べています。

暑い季節は、冷たいビ

ールが美味しい季節。

いつもお店の方のおす

すめをいただいて大満

足なのですが、今年は

少しずつビールのあれ

これを覚えながら楽し

みたいです。

毎年、サイダーで割るためのシロップを作

るのがこの季節の樂

しみです。いつもはレ

モンだけど、今年は

梅シロップに初挑

戦！ちょうど夏本番

ごろに完成する予定

です♪

はこだ

しんの

よしむら

ご意見・ご感想をお聞かせください（メール・FAXで受け付けております）

MAIL yj@tenjinpark.com